

部局名	子ども部	所属名	元気子ども課	所属長名	石塚 三男	電 話	483-1151 内線2260
-----	------	-----	--------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4199	事務事業名称	子ども手当支給事業					短縮コード	経常		臨時	4199
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	02	児童措置費
区 分	☐ 自治事務		☒ 法定受託事務		根拠法令等		平成22年度における子ども手当の支給に関する法律					
☐ その他												
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
平成22年度における子ども手当の支給に関する法律(平成22年4月1日施行)												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして				
平成23年度以降の取扱については、国において平成22年度中に子ども手当の恩恵が行きわたるような子ども手当制度を検討する。						大項目（節）	02	社会福祉				
						中 項 目	01	児童福祉				
						小項目（施策）	02	児童の健全育成の推進				
						細 項 目	03	経済的基盤の支援				
実施計画の計画事業												
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成22年4月 ～ 平成23年3月		計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	出生から15歳到達後の3月31日までの児童を養育している保護者						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 平成22年4月からの実施に向け、システムを導入するなど準備に努めた。						
	※平成22年度に計画していること： 認定請求書を元気子ども課又は最寄りの支所にて受理し、審査のうえ子ども手当を支給(年3回 6・10・2月に前月分までを請求者に支給する。)						
意図 （何を狙っているのか）	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために、子どもを養育している保護者に対して手当を支給する。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	対象児童数	人				30, 000
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	パンフレットの配布	件				20, 000
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	子ども手当受給者数	人				20, 000
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード		4199	事務事業名称	子ども手当支給事業			所属名	元気子ども課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円			11, 621	3, 166, 519	
		県	千円				416, 967	
		地方債	千円					
		一般財源	千円			798	337, 020	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳					未支給	子ども手当の給付 3, 900, 000	
人件費 (B)			千円	0	0	0	28, 703	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	0	0	12, 419	3, 949, 209	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☐ 結び付いている		事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☒ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
			☐ 達成していない						
			☒ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
☐ 可能性はない									
☒ 評価対象外事項									
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい		事業区分「法定受託事務」のため評価対象外					
		☐ 見直す必要がある							
		☒ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		認定請求書などのチェックや各種通知書の封入などの作業を，臨時職員で対応しているため。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法			2		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	4199	事務事業名称	子ども手当支給事業				所属名	元気子ども課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			平成23年度以降の取扱については、国において平成22年度中に子ども手当の恩恵が行きわたるような子ども手当制度を検討する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			平成23年度以降の手当額の増加が見込まれ、全額国庫負担が検討されているため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
手当の増額を求める声がある。	

所属長コメント	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するため、制度の適正運営に努めて参りたい。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		